



ゆらい むろまち ばくふ
公方様の森の由来は、室町時代に当時の幕府と対立し
さしませんなんきよ
この猿島台地の先端に位置するこの場所に、一時期居を構
えた、古河公方・足利成氏に由来するもので、今でも当時の土壘と堀の跡が残っています。公方様の森のおもな高木は、シデ・コナラ・クヌギなどの落葉樹です、他にもエノキ、ヤマザクラ、松などの樹木があります。落葉樹は春になると新しい葉を出し、この時期は一日ごとにぐんぐん伸びて森を美しい新緑で覆っていきます。

写真①はコナラの新葉です。コナラはブナ目ブナ科コナラ属の落葉広葉樹で、春に花が咲き、秋には種子（ドングリ）が実ります、コナラは枝を伐採しても成長が早く、クヌギと並んで里山の薪林となって、化石燃料にとって代わられるまで、近隣の里の人達の生活を支えてきました。

写真②は、アカシデの幼葉です、アカシデはカバノキ科の落葉高木で、写真のように新芽が赤くなり、秋には赤く紅葉するところから、アカシデと言う名前が付いたようです。



クサイチゴの花が

咲いています

クサイチゴはバラ科キイチゴ属の植物です。春に花を咲かせると5月から6月頃に赤い実を付けます。果実は甘酸っぱくてさわやかな味ですが、でも触るときは小さなトゲがありますから注意して触ってくださいね。菖蒲園の西側林の中にまとまって咲いています。



クマバチ出動

中山台の菜の花畑をブンブンと音をたてて飛び回っているのは、クマバチです。ミツバチ科クマバチ属でその仲間は沢山の種類がいるようです。この写真のクマバチはキムネクマバチだと思われますが、その丸くて大きな体はお花畑の主役です、その大きな体に似合わず、性格は大人しくオスは刺しません。一生懸命になって菜の花の蜜を吸いに来ている姿はかわいらしいですね。菜の花のほかに藤の花の周囲でも見かけます。



愛宕川が見えるのは今のうち

あたご あらくだ ぞ
新久田道沿いに公園の南東沿いをぐるりと流れる愛宕川
今のうちはまだまだ水路が見えていますが、そのうちイネ科のヨシに覆われて見えなくなってしまいます。
ヨシはアシとも呼ばれ、その成長の早さから水の浄化には重要な役割を果たして、湿原の代表的な植物です。
また水生昆虫や魚、鳥の隠れ家となって、その周りには沢山の生物が育ちますが、人間にも昔からヨシゾなどに利用されてきました。昔は御所沼は渡良瀬川や利根川とつながっており、星の形をした大きな湿地だったといいます。その湿地にも沢山のヨシが生えて、その周りに暮らす生物や人々に恩恵を与えてきたと考えられます。

上記記事

出典参考: フリー百科事典『ウイキペディア (Wikipedia)』